

# 実践教育研究発表会 2019

2019. 8. 22～8. 24

## 大会テーマ 「未来を創ろう」

2019年度の実践教育研究発表会（東京大会）が8月22日から8月24日までの日程で、東京都荒川区の東京都立産業技術高等専門学校高専荒川キャンパス（以下、東京都立高専という）で厚生労働省、高齢・障害・求職者雇用支援機構、東京都荒川区教育委員会、東京商工会議所荒川支部の後援で開催されました。

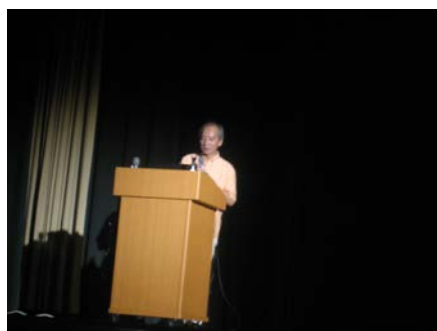
大会は「未来を創ろう」を大会テーマに掲げ、大会運営委員会および実行委員会によりいろいろな企画が準備されました。3日間の会期中、延べ420名余りの参加者により発表や討議、情報交換、交流が行われました。

3系共同の企画である特別講演では、「鳥人間コンテストにたずさわって」というテーマで東京都立高専の名誉教授である飯野 明氏の講演が行われました。

講演では、鳥人間コンテストのはじまりやその後の歴史、飛行体について、大会のスケジュールや各状況、参加グループの苦労話などが細かく丁寧に説明され、非常に多くのことを学べた講演会となりました。



発表会会場（東京都立高専）



特別講演の様子



一般講演の様子

各専門部の企画もそれぞれ行われました。機械系企画では、「ものづくりの本質—未来を創ろう—」というテーマで上坂 淳一氏（関東能開大 特任教授）の講演と進行により三部構成のシンポジウムが行われました。第一部は今回の機械系コンテスト（第1回実践加工技量チャレンジカップ選手権—平面度編—）について、第二部は超精密分科会の活動について、第三部は「これからの未来に向けて」というテーマで、上坂氏の基調講演と討論が行われました。シンポジウムの中で機械系コンテストの表彰式も行われました。

建築・デザイン系では、第2回建築設計競技（テーマ「店舗併用住宅」）の表彰式、国立西洋美術館の見学会が行われました。

一般講演では87件（機械系27件、電気・電子・情報系22件、建築・デザイン系15件、能力開発分科会23件）、ポスターセッションでは3件の発表がありました。

企業展示では、全国から29社（30ブース）の出展があり、教育訓練教材や関連製品などの展示が行われました。

全体交流会は、東京電気大学の学生ホールで開かれ、全国の教育訓練施設から来られた会員と賛助会員、来賓、発表会関係者の交流が行われました。



ポスターセッションの様子



企業展示会場の様子



全体交流会の様子